

第 63 回全国植樹祭における東日本大震災の復興支援について

1 「復興の森」について

(1) 趣旨

戦後最悪の自然災害となった東日本大震災の早期復興を祈念し、「復興の森」を設ける。(別図参照)

(2) 植樹日 平成 24 年 5 月 27 日(日曜日) (式典終了後、実施)

(3) 植樹場所(別図参照)

山口市阿知須きらら浜 植樹会場「復興の森」(500 m²)

(4) 植樹者 約 230 名

県外招待者代表 80 名(岩手県、宮城県及び福島県出席者、各都道府県代表)

県内招待者代表 150 名(県議会議員、市町長、市町議会議員、林業関係団体、緑化関係者等)

(5) 植樹本数 約 230 本

(6) 植樹する樹種

東北地方の海岸部に生育する代表的な樹種(クロマツ、タブノキ、ヤブツバキなど)

2 緑化樹木の支援について

(1) 趣旨

東日本大震災の津波で流失した海岸林の早期再生を支援するため、山口県で生産した緑化樹木を贈呈する。

(2) 支援先

岩手県、宮城県及び福島県

(3) 伝達方法

式典行事(プロローグ)において、東北 3 県(岩手県、宮城県、福島県)に対して目録を贈呈

(4) 支援内容

緑化樹木

樹種 抵抗性クロマツ(きららマツ)など

本数 3,000 本(1,000 本/1 県)

支援時期・方法

被災県と調整のうえ詳細を決定

3 復興支援ブースの設置について

関連イベントにおいて、東日本大震災義援金の受付や東北地方の物産販売等を行う復興支援ブースを設置する。

別図

植樹会場平面図

